

# まちのほっとニュース

## 環境大臣から認定書授与 平成の名水百選に「沼袋の水」が選ばれました

6月25日に清澄庭園「大正記念館」（東京都）で開かれた式典で、鴨下一郎環境大臣から中野渡市長へ平成の名水百選認定書が授与されました。「沼袋の水」は赤沼地区にあり、名水公園として水路や遊歩道が整備され、市民の憩いの場として親しまれています。1日170トンの湧水量を誇り、農業用水などに広く活用されています。



## 災害時避難者用に役立てようと 三本木商事が飲料水を寄附

7月18日に、三本木商事株式会社（瀬上鈴夫社長）から災害時の避難者の飲料水に役立てて欲しいと中野渡市長にミネラルウォーター500ミリリットル1,200本の目録が贈られました。三本木商事は、創業60周年の節目を迎え、地域に貢献したいという思いから今回の寄附となりました。市では、災害時用の飲料水として備蓄し、万が一の事態に備えます。



## 交通安全子供自転車全国大会出場 下切田小学校の皆さん おめでとうございます

7月4日青い森アリーナで行われた、第42回交通安全子供自転車青森県大会団体の部で優勝、個人の部1位に金野竜大さん（6年生、写真右端）、2位に橋場陽子さん（6年生、写真右から2番目）、4位に白山征篤さん（4年生、写真中央）が入賞しました。下切田小学校は、全校児童数が少ない学校のため、部活動を行うことが難しく、昭和60年から児童間の連帯感を強めるために、大会へ参加しています。大会は自転車競技を通して交通安全の意識と交通事故防止を目的として開催され、実技と学科の両方の得点で競われます。

次は8月8日に東京都で行われる全国大会へ県代表として参加します。リーダーの橋場陽子さんは、「下切田小学校のチームは5年生がいなく、技術面では他校に劣ります。みんなで学科で満点を取れるように学習することで、県大会は頑張ってきました。全国大会では、たくさん練習をして、上位入賞できるように頑張ります」と抱負を語っていました。



下切田小学校自転車部の皆さん

団体の部過去の成績 平成10年～14年、18年 優勝

# 温故知新

市郷土館資料から④



エンツコ（嬰兒籠）  
種別 民俗  
時代 昭和10～30年ごろ  
大きさ 高さ 35.0cm  
幅 65.0cm

かつて、乳幼児を座らせておくのにエンツコ（嬰兒籠）が使われていました。わらで作られたエンツコは、適度な弾力があり、温かく、子どもの周りにはわらくずや布の切れ端を入れ、動かないように固定し、包み込みました。また、吸水性にすぐれ、子どもがおもらしたときに重宝しました。

エンツコは軽いため、田植えや稲刈りのときは、田んぼなどに持って行き、子供が泣くと、揺らし、あやしたそうです。

エンツコは、槌で打って柔らかくしたわらを何本か束ねたものを同心円状に編みながら積み上げ、大きな椀の形にして作られました。

### 問い合わせ先

郷土館（☎0515）